●委員会・同好会報告

ロータリー財団　廣部委員長

先月から、財団への寄付を個人的にお願いしてまいりました。現在、大口の松浦会長をはじめとする15名の方々に、寄付をいただいております。今月中には、なんとか送金までこぎつけたいと思いますが、声をおかけしなかった会員の皆様の中で、今期是非とも財団寄付をとご希望の方はお申し付けください。大歓迎です。今月のロータリレートは104円とわりと円高に振れています。良い機会かもしれませんので、よろしくお願いいたします。

大渕会員

去る４月17日㈫、「海月」で第２回目の「家庭集会」を開催いたしました。主に入会３年未満の会員の方々へご案内いたしましたが あまり出席率がよくありませんでした。（当日出席者：村越･大渕・吹越・太田・山谷・西谷・保知　各会員）

廣瀬会員

今回、出席委員会から出された「クラブへの提訴」の件につき、ここ数年、専任事務局長を引き受けている立場として、一言申しあげます。

提訴というのは、いささか大げさであると思いますが、「理事会決定に異議を申し立てる」事は、ロータリークラブ会員すべてに認められた権利である、とあります。従って、今回の件については、会長が再度開かれた理事会の代弁者として、説明するのではなく、予告された当クラブの定足数の集まる例会にて、「クラブ討論会」を開催し、話し合いを持ち、解決すべきと考えます。

●出席委員会

平成30年４月２０日㈮

会員総数　65名　　本日の欠席者　15名

浅村、岡﨑、小笠原、桂、工藤、紺谷、佐藤(公)、佐藤(友)、柴田、鈴木、髙木(成)、野村、林、松尾、盛

平成30年４月6日㈮

会員総数	65名	出席摘要免除者数	３名
ホーム欠席者数	12名	メーキャップ数	１名
純欠席者数	11名	確定出席率	85.48％

●メーキャップ

4/6　阿部（増強特別委員会）

2018~2019年度　各委員長 及び 委員メンバー

■役員・理事（2018~2019年度）

会長	工藤　左千夫
副会長	濵本　進
担当委員会	（クラブ奉仕委員会担当理事）
直前会長	松浦　光紀
次期会長	小笠原　俊介
理事	斎田　義孝
担当委員会	（奉仕委員会担当理事）
理事	高木　成一
担当委員会	（職業奉仕委員長）
理事	村越　仁
担当委員会	（国際奉仕委員長）
理事	林　正章
担当委員会	（例会運営委員長）
理事	加藤　正幸
担当委員会	（会員組織委員長）
幹事	湊　亨
会計	阿部　誠
ＳＡＡ	紺谷　茂夫

■増強特別委員会

委員長	工藤　左千夫
副委員長	加藤　正幸
副委員長	阿部　誠
副委員長	松浦　光紀
副委員長	小笠原　俊介
委員	斎田　義孝
委員	福島　正紘
委員	村越　仁
委員	湊　亨
委員	林　正章
委員	濵本　進
委員	紺野　茂夫

■委員会配置

委員会　担当理事	委員長		副委員長		委員
クラブ奉仕委員会 濵本　進	例会運営	林　正章	例会プログラム担当	松尾　和歌子	荒田　一正・東　慶広・盛　昭義・高木　正光
			雑誌会報	坂口　榮一	
	会員親睦	三栖　裕司	親睦	白石　亨一	井手　信治・荒井　輝夫・保知　清人・堀内　万記子・前川　勝美・芝原　文雄・高橋　朋子
			姉妹交流	見延　庄三郎	
	出席退会	大渕　勝敏	出席・退会防止	山谷　憲弘	米山　八郎・野村　定弘
	広報情報まごころ箱	斎藤　仁	広報情報	板垣　明	岩舩　早苗・石川　稔
			まごころ箱	佐藤　喜典	
	会員組織	加藤　正幸	会員組織	福島　正紘	上野　正之・佐藤　碁兵衛
奉仕委員会 斎田　義孝	職業奉仕	高木　成一	職業奉仕	西谷　慎一	吹越　範義・浅原　健藏
	社会奉仕	本間　彰	社会奉仕	浅村　公二	
	国際奉仕	村越　仁	米山奨学	地山　敬胤	北野　明宣・吉川　愼一
			国際奉仕	岡崎　芳明	宮川　英隆・佐藤　公俊・太田　宏司
	青少年奉仕	桂　正俊	青少年奉仕	廣瀬　保男	小林　英夫・山田　正
	ロータリー財団	山村　弘一	ロータリー財団	佐藤　友美	新倉　吉晴・大倉　俊一
ＳＡＡ	ＳＡＡ	紺谷　茂夫	ＳＡＡ	田中　彰一	鳥井　健次・廣部　隆夫
幹事	幹事	湊　亨	副幹事	林　正章	
会計	会計	阿部　誠	副会計	鈴木　崇史	

まごころ箱

いつも有難うございます！

松浦会員　地区研修・協議会」ご参加いただきました 感謝申し上げます。
東　会　員　不良会員申し訳ありません 以後出席ＵＰを目指します。
濵本会員　会報の写真に改めて自分の年齢を感じました。札幌で会議の為、早退します。
芝原会員　結婚祝。　**白石会員**　結婚祝。
斎藤会員　夫人誕生祝。　**大倉会員**　夫人誕生祝。
山村会員　夫人誕生祝。有難うございます。
斎田会員　夫人誕生祝。

まごころ箱 入金集計額（H29.7.7~H30.4.20）
4月20日分　27,000円
合計　800,000円

国際ロータリー 第2510地区 日本　The Rotary Club of Otaru South. District No.2510

Rotary 小樽南ロータリークラブ会報

Club Homepage URL http://rid2510.org/otarusouth/

●例会場/ニュー三幸　●例会日/毎週金曜日12時30分　●事務局/〒047-0032 小樽市稲穂1-3-6　☎0134-33-3500

32
2018年４月27日㈮発行
通巻 第2827号
1960年創立
昭和35年2月5日

●本日4月27日㈮のプログラム

◎スピーカー　畑中　晃祐 氏
（「HATAKE NO NAKA」店主）

●来週5月4日㈮のプログラム

◎「休会」

●再来週5月11日㈮のプログラム

◎「口腔外科について」　佐藤　友美会員

●2017-2018年度 IRテーマ
ロータリー：変化をもたらす
2017-2018年度会長 イアン H.S. ライズリー

2017-2018 地区目標

●会員増強の推進
●情報の共有
●環境保護の取り組み
●ロータリー財団寄付を、5%増加に向け取り組む

松浦年度信条

善　職業奉仕
美　四つのテスト
快　楽しもう

●第31回例会報告　4月20日㈮　「心臓病･特に心筋梗塞について」スピーカー 高木正光会員（小樽協会病院 名誉院長･小樽南ＲＣ）

●ロータリーソング　「四つのテス」

●ゲスト・ビジターの紹介

金　仁瑛（キム　インヨン）さん

●米山奨学生紹介・奨学金授与　松浦会長・地山カウンセラー

キム　インヨン
金　仁瑛さん

平素より当クラブ活動に対

これから２年の長い間、大変お世話になります。

私は、小樽商科大学商学部 社会情報学科３年の金　仁瑛と申します。初めての経験ですので大変緊張しておりますが、みな様と沢山のお話しを出来るのを期待しております。これから大変お世話になります、よろしくお願いいたします。

●会長の時間　松浦会長

先日、地区研修協議会に出席させて頂きました。

地区研修リーダーの熊沢パストガバナーが会議のスピーチの中で、例会の運営について述べました。ロータリーの活動の中で例会出席が重要であることを説明されました。例会に出席することにより、卓話を聞くことで新しい知識や情報を得ることができます又親睦を図ることが出来ます。

しかし、最近例会2510地区では、出席率が落ちてきていることに懸念されました。

クラブでは、例会運営委員会や奉仕プロジェクト委員会の協力により、卓話の充実を図り、マンネリにならないよう工夫しながら運営しています。

例会への出席は、ロータリーの基本です。他クラブへのメーキャップや奉仕活動に参加されるなど努力をお願い致します。

本日は小樽協会病院名誉院長である高木会員による「心臓病、特に心筋梗塞について」卓話を頂きます。宜しくお願い致します。

先週クラブに対する提訴を行っている大渕会員を訪ね、提訴は、理事会において認められなかったことを伝えました。内容については30号の会報に記載されている通りですが、基本的には、クラブが提訴を受ける内容でしょうか？例会会場を変更しただけで欠席者全員に対し出席免除を行ってほしいという内容です。例会場を変更しただけで、出席免除を理事会が認めるということは、例会の出席率は上がります。地区研修協議会において、熊沢次期地区研修リーダーは例会への出席率の向上を求めていますが、安易に欠席者に出席免除を与えることは、一般社会では架空売り上げと同じことです。国際ロータリーが掲げている信頼される商業道徳に全く外れる行為です。国際ロータリーのどこに定例の曜日、時間に例会場を近くに変更した場合、出席免除を欠席者全員に与えることを認める条文がありましょうか？ロータリーのルールに無い、欠席会員全員に出席免除を与える間違った慣習を一部改めることはクラブに対する提訴と言えるでしょうか、大渕会員は大先輩のロータリアンが当クラブに出席されている例会で移動例会100％出席を認めるよう発言されました。大先輩のロータリアンは当クラブがそのような重大なロータリークラブ定款・細則、違反を堂々と例会で発言されたことに大変驚かれていました。私は大先輩のロータリアンの顔を見ることも出来ませんでした。私はその時の会報は他のクラブに郵送しないようお願い致しました。又インターネットのクラブホームページに対しても掲載を保留し、大渕会員の発言部分を削除して掲載するよう依頼いたしました。

ロータリアンとして間違えた慣習は、恥ずかしいことです。出席免除はその時の理事会において判断されるものです。

提訴される内容ではないと考えております。

●幹事報告

●余市ＲＣ＝例会変更のお知らせ＝５／２㈬「休会」
５/16㈬お花見例会（夜間例会）点鐘 18:30 ～
場所：リバーハウス（ホテル水明閣敷地内）
●22日㈰開催の「ＩＭ」に参加される会員の方々、開催時間お間違えのないよう、また 休日にも拘わらずご足労おかけいたします心より感謝申し上げます。

2018/4/22 開催
会場：グランドパーク５階

◆松浦小樽南ＲＣ会長

今期は、会員増強のために増強特別委員会を組織しました。7月以降、新会員をご紹介いただくカードを提出していただき、約50名の候補者リストを作成しました。それぞれ担当を決めて勧誘活動を続け、毎月進捗状況を確認しています。

活動のなかで様々な課題が浮かび上がりましたが、整理をして記録として残し、次年度以降も継続した活動ができるよう、会員増強の推進と合わせ準備を進めています。

今期67名の会員でスタートしました。現在、２名が退会され、２名がご逝去、新会員は３名で66名です。５月11日に１名新会員が入会予定です。

最後まであきらめず会員増強に努めます。

◆情報の共有化-マイロータリーの登録

現在は40％ほど登録しております。全員がマイロータリーに登録は済んでおりません。原因は高齢によりパソコンを必要としない会員や、パソコンが会社の所有物で電子メールアドレスの登録ができないなどがあります。

◆環境保護の取組

小中学生が練習するスキージャンプ競技場で、斜面に直射日光が当たらないよう、影づくりをするための植樹を６月に行います。合わせて希望する会員の庭などに苗木を植えてもらう計画です。

◆ロータリー財団寄付5%増を目指して取り組む

財団寄付は毎年５月ごろ行っていますが、現在、確定した集金済みの範囲では、年次基金への寄付額、ポール・ハリス・フェローの人数とも前年度比５％増はクリアしている状況ではあります。早急に振り込みを予定しております。

◆ポリオデーの支援

10月27日市内サンモール一番街にて、ポリオ撲滅・PR・募金活動をおこないました。ポリオ撲滅の旗、パネル・ポスターを展示し、新たに誂えた、そろいの帽子と法被といういでたちで、メンバー全員街頭に立ちました。PRパンフレットと一緒になったポケットティッシュを配りながら募金をお願いしました。結果、24,288円の寄付をいただくことができました。

会員一人30ドルを目標にクラブ寄付を行う予定です。

◆地区会員と各クラブの連携化

地区委員会との連携強化という観点から、３名の会員に地区委員会に出向しており、ポリオプラス委員会に岡崎会員と私が、米山学友委員会に山田正会員が、参加しております。これからも続けて行きたいと考えております。

又、２月に小樽３クラブ合同例会等市内クラブとの交流をおこなっています。。

◆取り戻そう「ロータリーの心」-次世代を担う青少年へ

10月14日　小樽市内の小中学生を対象とした第４回小樽こどもの詩コンクールに、初回から当クラブから金賞等の景品を提供しており、宮川青少年副委員長が出席致しました。

12月には小樽商科大学国際交流サークルと提携し、留学生を囲んでクリスマス交流会を行いました。

２月には第58回を迎えた、小樽市内高校優秀卒業生の表彰式を行いました。

全日制高校10校、定時制高校２校計12名の人格、行動、学業に優れた卒業生の方々を各校の校長先生よりご推薦して頂き表彰状と記念品が授与し、優秀卒業生から、将来の夢や抱負を語って頂きました。

この活動は北海道新聞社、小樽ジャーナル社に掲載頂き、ロータリーの公共性イメージの向上に努めることが出来ました。また幼児を対象に赤ちゃんの時から本に接してもらい、言葉と心を育てる役に立てようという運動であるブックスタート事業に寄付を毎年行っております。

●例会プログラム

心臓病、特に心筋梗塞について

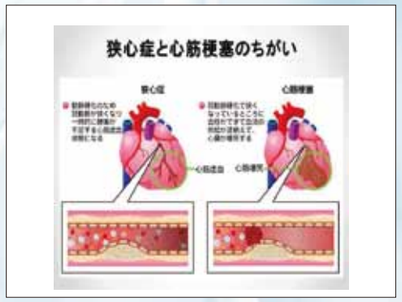
スピーカー　高木　正光会員
（小樽協会病院 名誉院長･小樽南RC）

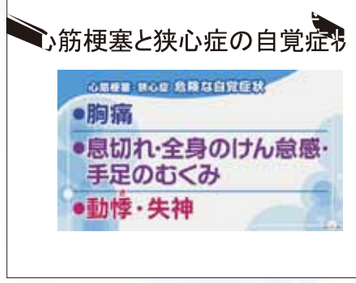
私は、外科医で癌の手術を専門に医療に従事してまいりました。たまたま今年の１月７日、前胸部の圧迫感と鈍痛、背後部への放散痛を訴え、夜中でしたが虚血性心患の疑いで当院循環器内科で精査を行い急性心筋梗塞の診断の下、即刻、心カテーテル法により完動脈の左前下行枝の３ヶ所の梗塞並び狭窄にステトンを挿入、一命をとりとめました。

そんなことがありまして、卓話として心筋梗塞症の経験を中心に心臓病、とくに心筋梗塞のお話を依頼されました。先に申し上げましたとうり私は外科医で循環器科の専門医でありません、果たして正確な、詳細尚話しができるか？その点ご寛容ください。

心臓の病気として心不全につながる疾患として、不整脈疾患、虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）心臓弁膜症、心筋症（肥大型、拡張型）等がありますが、突然死の原因と頻度では心筋梗塞・狭心症は50％～ 60％と最も多く、日本で年間約７万人の死亡例が認められております。

（中略）





■再発予防のための

心臓リハビリテーションについて

完動脈の動脈硬化による狭心症、心筋梗塞はカテーテル治療、バイパス手術が終わってこれで完治と言うわけではない、10％～ 20％の再発があり、再発予防の心臓リハビリテーションが大切である。これまでの生活習慣病、高血圧症、脂質異常症、糖尿病、肥満、喫煙の改善が大切で、薬物療法の継続、食事療法、運動療法も肝要である、運動療法は運動による適応心拍数、限界心拍数を知って、無理のない、ややきつい、息が少し弾む程度の有酸素運動、ウオーキング等、１日30分２回、週に３日以上の継続が望ましい。

虚血性心疾患、狭心症、突然死に繋がる急性心筋梗塞のお話をしましたが、普段の生活習慣病を予防、治療し、疑い、不安があれば早期に循環器科の受診が大切と感じました。